

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

| | |
|--------------|---|
| 会 議 名 | 令和5年度第1回高松市行財政改革推進委員会 |
| 開催日時 | 令和5年6月12日（月） 14時00分～15時00分 |
| 開催場所 | 防災合同庁舎 3階 302会議室 |
| 議 題 | (1) 委員長の互選等について (2) 令和5年度高松市外部評価について (3) 次期行財政改革計画の策定方針案の意見聴取について |
| 公開の区分 | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 |
| 上記の理由 | |
| 出席委員 | 植原委員、大美委員、関委員、曾根委員、田井委員、 竹内委員、野村委員、松本委員、溝渕委員 |
| 傍 聴 者 | 1人 (定員 5人) |
| 担当課及び 連絡先 | 人事課行政改革推進室 839-2160 |

審議経過及び審議結果

会議公開の確認、外村総務局長挨拶の後、次の議題について協議した。

(1) 委員長の互選等について

要綱第4条第2項に基づき、委員長の互選

(結果) 委員長 溝渕委員

要綱第4条第3項に基づく副委員長の指名

(結果) 副委員長 竹内委員

(2) 令和5年度高松市外部評価について

<主な質疑等>

質疑なし

(3) 次期行財政改革計画の策定方針案の意見聴取について

<主な質疑等>

(委員)

事務事業評価表と行財政改革計画はリンクしているか。

(事務局)

市の最上位計画である総合計画の体系の中に、事務事業があり、事務事業評価表は総合計画の体系にリンクしている。行財政改革計画は、総合計画の推進をサポートするために策定しているものであり、総合計画に位置付けられている事務事業の内、行財政改革として取組が必要な分野を基本方針や実施項目に落とし込んで設定している。

(委員)

次期行財政改革計画において、行政コストはどのように表すのか。

(事務局)

行政コストについては、基本方針1「将来を見据えた持続可能な財政運営」において、行財政改革計画の取組の成果を測る指標として、歳出削減及び歳入増加による金額を効果額として取りまとめる予定である。事務事業の見直しや自主財源の確保など、個別に取り組み、積み上げたものが効果額であるが、1つ1つの取組の効果額を個々に示すことは難しく、どのような指標とするのか、どのように効果額を見せるかといった、

効果額の測定方法や表現方法については、今後検討していく必要があると考えている。

(委員)

4つの基本方針として、財政改革・業務改革・組織力強化・協働推進を設定しているが、協働推進をもっと上位に設定すべきではないか。人口減少社会において、行政側の職員も減少していく中で、多様化する市民ニーズに対応するためには、市民を巻き込んで、もっと市民と一緒にまちをつくっていく必要があると思う。また、普段から地域と活動しているので、協働を目的ではなく、手法として取り入れ、今までにない取組を検討していかなければならないと強く感じている。

(事務局)

市民等との連携・協働は、これからの行政運営の前提条件であると認識しており、協働の重要性を職員に対してより浸透させる必要があると考えている。基本方針1、2、3、4に順位はなく、どれも必要であるとともに、すべて連動しており、今後、実施項目を考えていく際には、どの基本方針に紐づけることが適正なのか、御意見を踏まえ検討したい。

(委員)

NPOとして活動している中で、協働は極めて重要と感じている。また、基本方針2「スマートな行政運営によるデジタル市役所の実現」の利用者目線のDX化についても重要だと考えているが、高松市提供のアプリには、市とつながっている実感がなく、ほとんど活用されていないものもあるため、DX化を進める際には、デジタル化の必要性の検討や、利用者が使いやすく、十分に活用されるサービスを意識してほしい。